

沼垂小学校区コミュニティ協議会だより



沼垂地区コミュニティ協に念う

会長 山岸健治

小学校区コミュニティ協議会が発足して十年余になりますが、当初は暗中模索状態でしたが、紫竹一丁目、本馬越、沼垂の各町内自治会関係、小学校及びPTA、民生児童委員の方々に依って小異を捨てて大同に付くの念いで役員各位の協力の下で勧めて来しました。(これ以外の方法では考え付かなかつた)

以来、コミ協主催の行事は関係者協力のもとで、三地区防災訓練、栗ノ木川さくら祭り、栗ノ木

川周辺の草刈り及び清掃、沼垂フェスタ、沼垂寄席等が行われています。新沼合併百周年の映画作りもコミ協が一体と成って一年掛りで制作されました。その時、沼垂コミ協が全面協力して戴いた事に感謝と伴に誇りに感じました。

此々最近の沼垂地区の公共事業の進展に依る変容が著しくなつて来ています。沼垂小学校の新築工事、沼垂幼稚園の耐震工事と馬越交番の移転、在来線の高架工事、栗ノ木バイパス拡幅工事、それに伴う最大の工事白山神社本殿の曳家工事等枚挙にいとまが無い程です。特に白山神社社殿の曳家行事に関しては沼垂住人の他、小学生、園児を加えた曳家は生涯忘れられない思い出に成る事でしょう。白山神社氏子奉賛会、祭り実行委員会の方々に深く感謝申し上げます。

沼垂小学校新築、沼垂幼稚園耐震工事と共に開校記念、開園記念と慶事が続き地域にとって喜ばしい事でした。

寺町市場跡の再開発も数年前から街興しの一端として沼垂テラスさんの御尽力に依って開所され、公共トイレ建設も近々工事が始まるとの事です。

沼垂地区コミュニティ協の「来る人拒まず、去る人追わず」をモットーに沼垂もん気質「スピリット本ノツタリ」を発揮して今後も進めて行きたいと念います。

コミ協は協力的？

沼垂小学校長 須田 哲明

校長会等で話題になることがあります。

「各校のコミ協はPTAと協力してうまく進めていますか。」四月十日、晴天のもと当校中庭を会場にして「さくら祭り」が盛大に行われました。ステージ上で数々の出し物が披露される中、たくさんの方々が私に話しかけ、この祭りの由来や出



栗ノ木バイパス工事



さくら祭り



店の人気商品などの説明をしてくれました。今のはコミ協の方かな、PTAの方だろうかと思いつながらも、はじめてがゆえに積極的にかかわれなかったことが思い出されます。一方で、会場におられる皆さんのウエルカムで

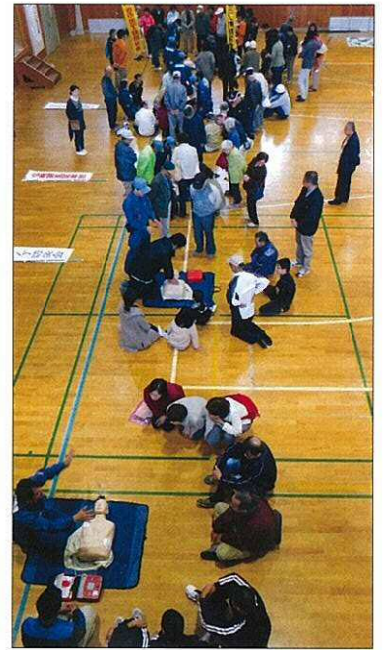


温かい姿勢にホツとしたことを今でも覚えています。それだけ和気あいあいとした魅力的な行事だったので。 「当校は、コミ協とPTAがとても仲良く、そしてうまくやっているようだ。」と私は校長会の場で答えています。

沼垂コミ協の防災訓練への参加のお願い

副会長 奥田 俊一

今年の防災訓練は、本馬越・紫竹、上町・日の出、明鏡の三地区で実施したが、参加者が減少しています。何が原因なのか考えなくてはならないと反省していますが、当コミ協の皆さん年一回



の防災訓練は自分の身や家族を守る大切な訓練です。隣近所お誘い合わせてご参加下さるようお願いいたします。今年もまた全国の各地でほぼ毎日と言つていい位地震が発生し、揺れてます。四月には熊本地震、十月には鳥取地震と記憶に

新しいところです。地震ばかりではなく、近年は台風が大型化し大雨、大洪水となつて大勢の方が犠牲になっていきます。新潟にもいつ災害が襲ってくるか分かりません。その時の用心の為に是非、防災訓練に参加され、万が一でも皆で協力して一人の犠牲者

も出さない様にしなければならぬと思います。当コミ協の皆さん！次回の防災訓練には出れば一世帯一人以上の参加をお願いします。防災訓練のブロック長、役員の皆さん大変ご苦労様でした。

運転者の皆さんへ

本馬越連合自治会長 本間 文吉

私の一日は朝の「おはよう」から始まります。毎朝、横断歩道に立つて子どもたちの登校の見守りをしています。元氣いっぱい「おはようございま

す。」の挨拶が毎日楽しみです。四月、まだランドセルが重そうだった一年生もすっかり遅しくなり、その成長には目を見張るばかりです。

最近、登校中の小学生の列に自動車が出っ込むという痛ましい事故が相次いでいます。私が立っている横断歩道には信号機がありません。子どもたちが渡ろうとしていたら、止まってください。脇を通る時は減速してください。これ以上、不幸な事故を起こさないようにドライバーの皆さん一人ひとりが気をつけなければいけません。これから冬になるとさらに道路の状況は悪くなります。子どもたちが安心安全な登校を出来るようにご協力をよろしくお願いいたします。

みんなの力

紫竹一丁目自治会長 小田 一司

新潟市が政令指定都市に移行する時、紫竹一丁目を含む紫竹連合は東区の区割りになることろでした。当時の自治会長を中心に緊急役員会を開催し、紫竹一丁目の地域性や交通機関等の利便性、また地域の将来を考えた時に紫竹一丁目は中央区に残るべきとの意見で一致し、各役員が知恵を出し合い、やはり直接行政へ訴えかけるのが一番と、私も面識のある当時の市議員に相談。「署名を集めて出しましょう」とアドバイスを頂き、時間の限られた中でしたが町内の九割余りから中央区移行への署名を頂き、市長の元へ提出、結果、紫竹一丁目は中央区として政令指定都市への移行を迎えました。あれから十一年、振り返ってみるととても大きな仕事に関われたと思つています。

子ども達の安心安全な地域をめざして

総務担当 青柳 司郎



通学路歩道と車道を塗り分け

日頃なにげなく通っている所を思いだして下さい。安全なんでしょうか。何か見落としていないでしょうか。通学路や防犯灯や空き家といった様々な危険がすぐそばに潜んでいると思われませんか。よく地域の子どもの話を下げて子ども達の気持ちになつたらどうでしょうか。少しでも改善され安心で安全な地域にしていこうじゃありませんか。私どもにとつては子ども達の笑顔が最大の喜びで最大のおくりものではないでしょうか。これからも地域の皆様と一緒に子ども達の為に少しでも協力できればと思っております。

沼垂コミ協の活動

会計担当 竹田 良性

沼垂コミ協が平成十八年十月に設立されてから今年十年となりました。

しかし、未だに各町内会は古くから組織され、かつ、連合会もある中で、コミ協は重複した組織構造になっているのではないかという話も聞かれます。

沼垂地区、本馬越地区、紫竹一丁目沼垂コ

ミ協ですが、エリア全体の生活環境の改善、防災・防犯、福祉の向上、青少年の育成等を図り、住みよい地域づくりを目的としており、その活動組織として、環境文化部、安心安全部、福祉部、青少年育成部、防災部の五部があり、百十名の方々が委員となり様々な事業を展開されています。総会は年一回六月初旬頃に、部会により異なりませんが、年三〜四回、役員会(十四名)はほぼ毎月開催しています。

当コミ協は、沼垂小PTAやOB等比較的若い世代が多く、事業も盛りだくさんであるとの行政サイドからの話もあります。

ユニークな事業として、『笹だんごづくり』『ちまきづくり』『なご地域の食の伝承を目的としたものもあり、これらも地域の皆さんが互いに顔見知りになり、共助機能が発揮できる地域づくりを目指していきたいと考えています。



ちまき作り 沼垂社

環境文化部活動報告

部長 山崎 正人

環境文化部は毎年、さくら祭り、なじらねフェスタ、なじらね寄席などを担当しています。今年

ほどのイベントも天気が良く多くの方からの協力のもと大盛況で終える事ができました。大変感謝しております。

昨年笹だんご作りを開催致しましたが、今年はこちら作りをやりました。幅広い年代の方からご参加頂き終始笑顔で楽しんで頂きました。

他にも沼垂コミ協として栗ノ木川河川敷の清掃や草取りをさせて頂いております。今後も地域の皆様笑顔でご参加頂けます様に部員で話し合い、良い沼垂コミ協を目指します。引き続き皆様からのご理解ご協力を頂きたく宜しくお願い申し上げます。

福祉部活動報告

部長 野崎 秀克

こんにちは お元気でお過ごしのこと事なによりであります。当部会では地域の茶の間『よろてば沼垂』で多くの方々にご協力をいただいて、毎週金曜日の午後集まりをしております。(内容等は町内回覧をご覧ください。)

今年例年にも増して自然災害が多く、各地で甚大な被害が出ていますし、日常生活でも犯罪や事故等で多くの被害にあった方々がおりますが、当沼垂の地では比較的少ない様であり



なじらねフェスタ

ます。(改築になりました白山様のお陰かな！)
この様な状況下で永く沼垂の地で住み続ける事は容易ではないと思いますが、多くの人々や物に頼つて生かされ生きていく事が理解されれば、それほど心配する事ではないと思います。『常にお互い様』和をもって生き抜いて行きましょう。今後とも当部会を宜しく願います。

青少年育成部活動報告

部長 関本 竜一

早いもので今年も残りわずかになりました。当部会では、今年度は次の活動をして来ました。蒲原祭りの巡視・栗ノ木川緑地帯整備(草刈り及びゴミ拾い)・地域安全安心見回り・新年会(平成二十九年二月四日予定)・沼垂小学校PTA餅つき 昔あそび(平成二十九年三月四日予定)



二三年ほど力を入れて行っている事業としては、地域安全安心見回りがあります。昨年度までは子どもたちの通学路で暗い所や交通の激しい場所等のチェックを行い、通学路においては東警察署にお願いし「緑のライン」で車道を色分けして頂きました。今年度は地域が増えつつある空き家がどのくらい在るのかチェックしているところですが、また、十一月には明石通りと栗ノ木バイパス交差点にて専門

学校の生徒さんが亡くなる痛ましい事故がありました。子どもたちや増えつつある高齢者の交通安全に対して何らかの対策が必要ではないかと思えます。



コミ協は地域のために活動をしていきますが、新しい若い方々の力が今後益々必要であると思えます。一緒に活動しませんか!!

沼垂上町・日の出地区防災会

ブロック長 加藤 勝男

沼垂小学校区コミュニティ協議会防災会設立よりブロック長を仰せつかり、早六年余りに至る。振り返ってみると何時も考え反省の繰り返し。防災訓練でした。自治会の防災会議での質問「津波が来たなら何処に逃げればいんだね」には小生は「高い所へ逃げるしか、ねこてね」と笑えない現実。新潟はここ数年災害がなく安心しすぎるところがある。これからは災害が絶対ないと断言できない。

あの新潟地震を体験した小生、それも一番被害が大きい萬代橋のふもとで一時避難。そこで見た情景は信濃川の水が引き川底が出ていた。「津波が来る、津波が来る」の声で「ビルの上へ逃げろ」その時、周辺のビルが入口を開放し「早く登って、

早く、早く」の声で避難した事を思い出す。防災訓練の挨拶で「自分自身の安全確認、必ず生き延びる事、それから家族や周りの人の安全」と言い続けてきました。「訓練で何度も繰り返し体験し避難所にたどり着く術を会得しましょう」参加することに意義あり。

本馬越・紫竹一連合防災会

ブロック長 平 明郎

本馬越連合防災会が設立されたのは平成十六年十月十八日です。加入世帯数は六百三十世帯でした。平成二十一年度から紫竹一丁目自治会が加入し、名称を本馬越・紫竹一連合防災会としました。世帯数も増加して千六十世帯となりました。防災訓練も今年で第十三回を無事に終了しました。「継続は力なり」と申します。防災訓練は区役所総務課職員、消防署員、地域の消防団の方々のご指導、ご協力が必要であります。また、自治会の皆様のご理解ご協力がなければ成功しません。「災害は忘れた頃にやってくる」と以前は良く言われましたが現在は「災害は忘れないうちにやってくる」と言われます。災害は地震だけではなくあります。台風、台風による水害等、災害が後を絶たない状態です。今年も熊本県で四月十四日、十六日に震度七の大地震が発生し、死者・関連死者が六十七人、負傷者多数の人的被害を受けました。災害はいつ発生するか予想はできません。自分の命は自分で守り、地域での助け合いを心掛けましょう。

